

熊と出会ってしまおう その前に。

山々の雪が解け、暖かくなるとともに活発に動き始める野生の動物たち。その中で特に気をつけなければならぬのが「クマ」です。

今年も、4月中旬から町内各地で目撃され、5月17日夜には十王地区の民家の小屋にクマが侵入したとの通報がありました。幸いにも今のところ大きな被害は発生していませんが、昨年6月には、秋田県で数名の方がクマに襲われて命を落とすという痛ましい事件も発生しました。

過去のデータ(図1)からもわかるとおり、クマの目撃情報や農作物等の被害が増加するのは初夏を過ぎたこれからの時期です。

そこで今回は、私たちの身近に生息していて、それでいて意外と知られていないクマの生態や遭遇した場合の対応策などについて紹介します。

ツキノワグマとは どんな動物？

日本には、2種類のクマがおり、北海道にヒグマ、本州にツキノワグマが生息しています。

山形県では、平成28年4月時点でツキノワグマが約2600頭生息していると推定されており、山形県ツキノワグマ管理計画に基づき、個体数の管理を行っています。

なぜ、人里に出没するの？

主な原因として、山でのエサ不足により、食べ物を探して人里まで来ていることが挙げられます。

人里側の原因もあります。収穫されなかった果樹や野菜、生ごみ等は、野生鳥獣にとっては魅力的な食料になります。また、林業や狩猟など山に入る人の減少や耕作

STATUS

ツキノワグマの生態

体長：100～150センチ
体重：40～130キロ

- ・胸に白いV字の模様
- ・主に木の実や果物の採食、ハチ類を好む

心 おとなしい
臆病

耳 人より良い
高音に敏感

目 あまり強くない
人と同じくらい

鼻 犬並みの嗅覚
人間の数十倍

口 強いアゴと牙
咬み切る力が強い

爪 カギ状の鋭い爪
穴掘り、木登りが得意

足 100mを6～7秒で走る
水泳も得意

